

平成 30 年度 鳥取大学入学者選抜試験問題

(推薦入試Ⅱ)

小論文

(農学部 共同獣医学科)

出題の意図

問題 1

題材は 2011 年に出版された水島 昇著「細胞が自分を食べる オートファジーの謎」という図書からの抜粋を一部改変したものである。抜粋した箇所はノーベル賞受賞学者の大隅良典教授の研究を紹介した平易な文章であり、高等学校で共通に学ぶ基礎知識があれば十分に理解できる内容である。全設問ともに基礎学力、文章の読解力と論理的な作文力を評価するものである。

問 1 高等学校生として知っておくべき漢字力を問う。

問 2 生物基礎として食品中の三大栄養素に関する知識を問う。

問 3 生体内でのタンパク質合成に関する情報を本文より引用してまとめる能力を問う。

問 4 オートファジーの概念を示した図を本文記述内容と照合して正しく理解し、まとめる能力を問う。

問 5 自分自身のタンパク質に対するオートファジーの主要な機能を本文中より抽出し、その意義をまとめる能力を問う。

問 6 酵素によるタンパク質の分解を指数関数の概念にあてはめて理解する能力を問う。

問題2

題材は1992年に出版された本川達雄著「ゾウの時間 ネズミの時間」という論説文からの抜粋を一部改変したものである。抜粋した箇所は平易な文章であり、理解するのに特に高等学校で学ぶ生物学の知識は必要ではない。全設問とも知識を問う問題ではなく、熟語の理解、文章の読解力、論理的な思考力、文章構成力を評価するものである。

問1 文章のメインテーマ(最重要点)を読み取れているかを、文章に表題をつけさせることで判断する。

問2 文章の内容を的確に読み取る読解力と熟語の理解を問う。

問3 文章の内容を的確に読み取り、その要点を文章で表現する能力を問う。

問4 文章の論理性を適切に読み取り、その内容をグラフと文章で表現する能力を問う。

問5 文章の内容を的確に読み取り、その要点を文章で表現する能力を問う。

問6 文章の内容を的確に読み取り、それを踏まえて文章を構成する能力を問う。